改憲・戦争阻止！大行進 全国ニュース

7月号
2026
No.19

【連絡先】千葉県千葉市中央区要町2-8 動労千葉気付／東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5F
TEL.080-6053-1751（本山）　kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp

毎月1回　15日発行
頒価100円

中国侵略戦争＝核戦争阻止！帝国主義打倒！

8・6広島の歴史的決戦へ

歴史的没落の危機にあえぐアメリカ帝国主義が、中国侵略戦争－世界戦争に突っ込んでいる。それは破滅的な核戦争に行き着く戦争だ。この未曽有の情勢に真正面から立ち向かい、中国侵略戦争阻止の巨大な反戦闘争に立ち上がろう。

侵略と戦争の根源である帝国主義を打倒する立場と展望を鮮明にして闘われた6・14全国集会－米大使館・首相官邸への実力デモ、7・4反戦女性集会＆デモは、その決定的突破口となった。これに続き、7～8月反戦反核闘争の大発展を切り開こう。その最大の激突点である8・6広島闘争を歴史的決戦として闘いとろう（4～5面特集）。

戦争以外に出口のない米帝

いま私たちが眼前にしているのは、基軸国自らが戦後体制の最後的破壊者として登場し、圧倒的核軍事力を振りかざして世界を戦争にたたき込むという歴史的事態である。米帝は国際協調的あり方での支配が完全に破産し、帝国主義者むき出しのトランプ的人物を押し立てる以外になくなった。何よりも中国スターリン主義の存在を容認できなくなり、力ずくでその体制を打倒・転覆しようとしている。トランプが「一夜で文明を滅ぼす」「石器時代に戻す」と言って強行したイランへの残虐な侵略戦争、それをもはるかにこえて中国全土を火の海にし、大虐殺し、日本全土も含めて全世界を地獄の戦場に引きずり込むものだ。

そして中国スターリン主義の側も、帝国主義打倒の世界革命を放棄した存在であり、労働者の解放ではなくスターリン主義体制の維持が自己目的であるがゆえに、体制的危機からの打開のためには核も含めた反人民的軍事対抗＝戦争に突っ込んでいる。この帝国主義とスターリン主義の体制を労働者人民の力で打倒することのみが、戦争を阻止する道だ。

6・14首相官邸へ実力デモ

トランプは建国250年の演説で「共産主義の脅威」「マルクス主義か愛国者か」と叫んだ。帝国主義と労働者人民が真っ向激突する時代だ。米帝にも日帝にももはや安定的支配の選択肢はない。帝国主義とともに世界戦争・核戦争の破局に転落するのか、帝国主義の支配体制を打倒して自らの手で未来を切り開くのか、歴史選択をかけた決戦だ。

高市打倒の戦闘的大デモを

日帝・高市政権は絶望的危機の中で、中国侵略戦争・核戦争への全面的参戦・突進に帝国主義としての生き残りと復活をかけている。そのために、「第1列島線」＝最前線での戦闘を担う自衛隊＝侵略軍隊へと転換し、「少なくとも年単位の継戦能力」（安保3文書改定）―国家総力戦体制を構築し、そして9条を柱とする戦後憲法体制を正面から解体し、労働者の反戦意識と闘いを暴力的に圧殺することが死活的なのだ。

特に、沖縄とともに広島・長崎の反戦反核闘争をたたきつぶし、侵略の拠点へとひっくり返すために全体重をかけている。中国・アジア侵略の歴史を居直り、天皇賛美と国家主義・排外主義を扇動し、非核三原則解体・核共有・核武装を信条とし、戦争政策を強行する高市が広島に来る目的はこの1点にある。被爆者英霊化の「戦争式典」粉砕！高市打倒！8・6広島決戦を闘い、中国侵略戦争阻止の反戦闘争の大爆発へ！

7・4反戦
女性集会
in高円寺

女性・青年の怒りの決起が始まった！

洞口 朋子（大行進よびかけ人・杉並区議会議員）

50人飛び入り、320人参加

7月4日、杉並区高円寺で反戦女性集会＆デモを320人の大結集でかちとりました。「国会前でビラをもらって来た」「自分も何か行動をしたい」という女性たちをはじめ、約50人の飛び入り参加がありました。3月8日の国際婦人デー闘争の地平をさらに発展させ、決起を開始している女性・青年・学生の怒りと結びつく闘いが決定的に開始されました。

JR高円寺駅北口広場でのリレーアピールでは、主催の3・8実行委の女性たちが次々とマイクを握り、中国侵略戦争阻止と女性解放の闘いに立ち上がることを熱烈に呼びかけました。

右翼の妨害ものともせず

集会は冒頭の基調に続き、全学連、動労東京環境アクセス支部、さらに大阪から駆けつけれくれた関西反戦女性行動実行委員会の仲間、そして婦人民主クラブ全国協議会、労組交流センター女性部、青年労働者が発言に立ちました。発言を聞いた人々が広場にどんどん集まり、討論の輪ができました。集会の最後に、3・8実行委からまとめと行動提起を行い、デモ出発点に移動しました。

デモは、警察権力と一体となって爆音を流しながらデモの進路をふさぐ右翼の妨害を断固はね返して進み、

沿道から続々と合流がかちとられました。反戦デモを襲撃する右翼こそ、再び中国・アジアへの侵略戦争に突き進む日本帝国主義・高市自民党政権の姿です。戦争を止める力は、帝国主義の「平和」「外交」ではなく、警察権力や右翼との激突も辞さない女性・青年・学生を先頭とする人民の実力闘争の中にこそあります。

帝国主義と天皇制への怒り

7・4は、行動全体を通じて、眼前で米帝の中国侵略戦争・世界戦争が開始されていることを真っ向から暴露し、この戦争阻止と日帝打倒・天皇制打倒はアジア人民との血債をかけた日本労働者人民の責務であることを真正面から訴えました。「護憲」「平和」ではなく革命こそが求められていることを闘争全体で（宣伝戦も含めて）全力で呼びかけました。

そこに多くの女性・青年・学生が、極めて意識的に参加したことが決定的です。まだまだ端緒的ですが、女性・青年・学生を、中国侵略戦争阻止の旗のもとに断固獲得できることを示しました。集会とデモ全体を通じて、多くの注目と共感が寄せられました。

7・4はさらに、皇室典範改定や国旗損壊罪法制定など、高市政権が再び三度天皇制を押し立てて中国侵略戦争・世界戦争に突進することを絶対に許さず、戦争と差別の元凶＝天皇制打倒を鮮明に呼びかけました。

国会内は日本共産党を含め帝国主義の存続と天皇制強化で一致しています。戦争翼賛国会に怒りを燃やし、国会前に結集する多くの女性・青年・学生たちの怒りを解き放ち、獲得する闘いにさらにうって出ましょう！

中国侵略戦争阻止の大デモへ

7・4は、来年4月の杉並区議選決戦に向けての出発点としても打ち抜かれました。杉並・岸本区長が区長選に10万票で「大勝」した直後の杉並での反戦デモでした。「対話が大事」などと言いながら、戦争に加担する杉並区長は許せません。私たちは、大行進運動―中国侵略戦争阻止の大衆的な反戦闘争を巨大な規模でつくりだす闘いにうってでよう！ 岸本区長に投票した10万人（区議補選で日本共産党に投票した3万人）に分岐をつくり、獲得する闘いです！

このかんの行動で出会ったすべての人たちに、7・25反戦反核集会（同日の関西反戦女性デモ）、8・6広島―8・9長崎の闘いへの決起を訴えましょう！ 高市打倒の決戦へ！

機動隊と激突し怒りの反戦デモ

改憲粉砕・中国侵略戦争阻止の6・14全国闘争に1000名

青年・学生のヘルメット・スクラム部隊を先頭にしたデモ隊は、「改憲粉砕・高市打倒」のコールを響かせてアメリカ大使館・首相官邸へ進撃した。大使館に向かう交差点では、暴力的な弾圧を加えてくる機動隊を押し返し、米帝・トランプへの怒りを爆発させた。官邸の直近の交差点でも機動隊と激突、中国侵略戦争に突進する日帝・高市を徹底弾劾した。

戦争の元凶を倒す反戦闘争を

芝公園（東京都港区）で開催した6・14全国集会には1千人が参加した。呼びかけ人の高山俊吉弁護士は「本日の行動をアジア・中東の闘う人民と連帯し中国侵略戦争を阻止する闘いを大きく広げるスタートとしよう」と訴えた。呼びかけ人の洞口朋子杉並区議は、戦争の元凶であるアメリカ帝国主義と世界戦争を促進する中国スターリン主義を弾劾し、「帝国主義とスターリン主義の世界体制を根底的にひっくり返すことが中国侵略戦争―世界戦争に対する唯一の現実的回答だ」と述べた。

青年学生、女性のリーダー次々

動労千葉の関道利委員長は「労働組合こそが巨大な反戦闘争を主導しよう」と語り、戦時体制の先兵＝連合を弾劾、国鉄闘争に勝利し反戦を闘う階級的労働運動をみがえらせる決意を表した。

三里塚芝山連合空港反対同盟の伊藤信晴さんは、「成田軍事空港粉砕、農地死守・実力闘争」を貫いた反対同盟60年の歴史を継承し、「徹底的に実力闘争を闘おう」と檄を飛ばした。

さらに在日イラン人の女性が登壇し、「イランの人々は不正や圧力に屈しない」と、闘志をたぎらせた。

大行進沖縄と神奈川、関西女性反戦行動、8・6ヒロシマ大行動、大行進東京の青年労働者らが熱烈に決意を語った。全学連の学生は「戦争に突き進む日帝を血を流してでも打倒する」と宣言した。

「戦争国会」を弾劾！

中国侵略戦争のための改憲、戦時弾圧・国家統制のための国旗損壊罪法、天皇制を強化し前面化する皇室典範改定（審議入り当日に衆院通過！）を絶対許さない。大行進は「戦争国会」を徹底弾劾する国会闘争を繰り返し闘い（写真は6月18日夕）、改憲粉砕の戦闘宣言を発した。

アジア侵略、ヒロシマ・ナガサキを

アメリカ帝国主義による中国侵略戦争は、世界戦争―核戦争とならざるをえない。日本帝国主義・高市政権は、米帝と共にこの戦争に突き進んでいる。今夏〈8・6広島―8・9長崎〉反戦反核闘争は、改憲と戦争・核武装の高市を直撃する歴史的な闘争となる。ヒロシマ・ナガサキ闘争とは何か。原点に立ち返って学ぶ。

アジア侵略戦争の帰結

1945年8月6日と9日、米帝が投下した2発の原子爆弾は、十秒で広島・長崎を消滅させ、広島で約40万人、長崎で約30万人が被爆した。45年末までの死亡者は広島14万数千人、長崎7万数千人。多くの人びとは熱線に焼かれ、痕跡さえとどめなかった。さらに放射線障害により、その後の数年間で10万人以上が死亡した。2026年現在も約9万人の被爆者が原爆症と闘っている。

当時の日本には、日帝に土地を奪われて移住したり強制連行されてきたりした朝鮮人・中国人も多くいた。朝鮮人被爆者は広島で約5万人、長崎で約2万人にのぼった。

広島は、アジア侵略戦争を最先頭で担った「軍都」だった。日清戦争（1894～95年）時には広島に大本営と臨時帝国議会が置かれた。広島を本拠地とした陸軍第5師団は、中国からニューギニアまで侵攻し、現地住民を大虐殺した。

長崎もまた、三菱の兵器工場や造船所などが集中する「軍都」であった。佐世保には海軍の拠点があり、大村には当時東洋一の規模を誇った航空機工場があった。

原爆投下にまで行き着いた責任は天皇ヒロヒトにあった。45年2月に近衛文麿元首相が「敗戦が必至である」ことを伝えて早期の戦争終結を求めたことに対し、天皇は「（国体護持のためには）もう一度戦果を挙げてからでないとなかなか難しい」と同調せず、戦争を継続した。7月26日に米・英・中の連名による日本への降伏勧告（ポツダム宣言）が出された後も、天皇と軍部は「国体護持＝天皇制存続」が約束されていないことを理由に受諾を拒否した。天皇が侵略戦争を継続したことで沖縄戦になり、広島・長崎に原爆が投下された。日帝のアジア侵略戦争の「帰結」がヒロシマ・ナガサキであった。

ヒロシマ・ナガサキ闘争の原点に立ち返って学ぶ

被爆者の存在さえ抹殺

米帝は原爆投下について、「終戦を早め、数十万の将兵の命を救った」などと一貫して正当化してきた。だが、米軍は原爆投下直前に広島へ測定器を投下し爆発データを収集、投下直後には米軍の専門家チームが来日して放射線量などを詳細に測定、その後ABCC（原爆傷害調査委員会）を設立し、被爆者をモルモット扱いして放射線影響の医学データを収集してきたことなど、米帝が世界に絶大な軍事力を誇示して戦後世界の支配を狙ったことは明白であった。

他方で米帝は、被爆者の怒りと闘いを恐れ、核兵器の残虐さを隠ぺいしようとした。米軍は45年9月、「**広島・長崎では死ぬべき者は死んでしまい、原爆放射能で苦しんでいる者は皆無**」として原爆症の被害を全否定し、連合軍総司令部（GHQ）は報道統制＝プレスコードを敷いて原爆をめぐる言論活動や出版・報道を厳しく取り締まり、被爆者の存在さえ社会に知らせなかった。

日帝はABCCに協力する一方で救護施設を被爆から2カ月ですべて閉鎖し、10年以上も治療を放棄して多くの被爆者を死に追いやった。被爆者抹殺は米日帝の共通利害だった。ヒロヒトは47年に戦後初めて広島を訪れ、許しがたいことに自らの戦争責任を棚に上げて「この犠牲を平和の礎としよう」などと述べた。

1975年、ヒロヒトは日本記者クラブで記者から戦争責任・被爆の責任について問われ、「**こういう戦争中であることですから、どうも、広島市民に対しては気の毒であるが、やむを得ないことと私は思っております**」と言い放った。

核と戦争への怒りの高まり

米・日帝による被爆者抹殺攻撃の中でも、被爆者の核と戦争への怒りは失われるどころか高まっていった。朝鮮戦争が始まった50年の8・6広島では、GHQと日帝権力による「一切の集会禁止」という弾圧を打ち破る「非合法」の「朝鮮戦争反対集会」や、峠三吉『原爆詩集』で有名な福屋デパートからの反戦ビラまきが在日朝鮮人被爆者青年を先頭に闘われた。「職場や地域、大学では、マッカーサーの暴圧に反対する宣伝も行われ、弾圧によって逮捕者も出るほどだった。…広島市警は集会・デモに参加すれば投獄するとの警告を全市の住宅に配布し、中国新聞は『平和に名を借りて朝鮮戦争に反対するな』とキャンペーンを張った。しかし被爆者と労働者は、在日朝鮮人との連帯をかけて闘った」（2020年、反戦被爆者の会・中島健さんの講演より）。

54年には3・1ビキニ事件を機に東京・杉並から原水爆の禁止を求める運動が起こり、翌年8月6日には第

くり返すな！

1回原水爆禁止世界大会が開催された。56年には日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が結成された。

この中で敵対者となったのが日本共産党だった。共産党は「**ソ連の核実験は戦争を防止するため**」「**ソ連の核実験による死の灰は甘んじて受ける**」と主張して「いかなる国の核実験にも反対」という宣言の文言に反対し、原水禁運動を分裂させた。

佐藤首相決死糾弾の闘い

70年8月、被爆者青年同盟が結成された。「1970年7月7日、在日中国青年から日本人民のアジア侵略責任に対する告発、朝鮮人被爆者・孫さんの命がけの渡航による日本人被爆者に対する告発を受けとめるところから、われわれは初めて被爆（者）問題をとらえはじめた。われわれは自らがアジア侵略を担った人間であること、抑圧民族として朝鮮の経済を奪い、ことばを奪い、土地を奪い、命を奪い、国をも奪っていった歴史を根底的に自己批判する…。…広島、長崎の被爆は、日本階級闘争が、日本帝国主義のアジア侵略体制構築に敗北したことの結果であり、民族排外主義の洪水に巻き込まれていった当然の道筋である。それは帝国主義に対する労働者階級の敗北がいかなる結果をもたらすのか、想像に絶する犠牲をもって示したものに他ならない。だからこそ、われわれは被爆をもって、抑圧民族としての日本人民の歴史をなにひとつ免罪できない」（『君は明日生きるか』より）

71年8・6は、被爆者の英霊化と反戦反核闘争破壊を目的とする首相・佐藤栄作の来広・式典出席に対して、被青同を先頭とする実力糾弾闘争が叩きつけられた（左の写真）。「猛然と佐藤めがけて突進した。『被爆者殺し佐藤帰れ！』『戦争犯罪人＝佐藤帰れ！』『人間をかえせ！』とあらんかぎりの声をふりしぼって叫んだ。われわれの怒りのシュプレヒコールはすべての被爆者の声であり、血叫びであり、多くの被爆者、市民の魂を揺さぶった」（『君は明日生きるか』）。

この被青同の闘いに被爆者、遺族、市民が合流し、佐藤のあいさつは怒りの声にかき消された。佐藤が逃げ込んだ車は人民に包囲され、平和公園からたたき出された。夜には平和公園で反戦大集会が開催され、デモには数万人の人民が続々と合流して暴動的決起へと発展した。

77年には、小西のぶ子さん（峠三吉の義姉）が会長を務める「反戦被爆者の会」が結成された。小西さんは「被爆者も三里塚のような実力闘争に立とう」と呼びかけた。

決然と「戦争式典」粉砕へ

高市が参加する今夏の広島・長崎式典は、新たな核戦争＝中国侵略戦争のための「戦争式典」にほかならない。高市は被爆者を「お国のため」に犠牲になった「英霊」にまつりあげ、“こんにちの（帝国主義国家のもとでの）平和と繁栄は尊い犠牲の上にある”として、戦争の原因・戦争責任を徹底的に塗り隠し、再び人民を帝国主義の侵略戦争に動員しようとしている。広島式典ではこのかん日本会議など右翼を大動員し、国家権力と市当局によって露骨な反戦集会弾圧・規制が行われてきたが、それが平和式典なるものの正体だ。このような式典を許すこと自体、亡くなった被爆者、核廃絶をもとめて命をかけて闘い抜いてきた被爆者を裏切るものだ。

被爆者の怒り、悔しさというものを本当に共にするならば、式典に出席する権力者らと一緒に「黙祷」したりすることなどできない。被爆者の怒りと悔しさを解放するものはただ一つ、核と戦争を必要とし必然化する帝国主義を打倒すること、そして帝国主義に対抗して核で武装するスターリン主義を打倒すること。そのことを通して本当の意味で戦争も核も廃絶すること、これ以外にない。

帝国主義各国が核政策の転換を開始した。いったん「脱原発」へかじを切った欧州帝は「原発縮小は戦略的誤りだった」と表明、英・仏帝を先頭に核兵器増強へ突き進んでいる。

日帝は安保3文書改定・非核三原則解体で米軍との「核共有」を進め、独自の核武装を狙っている。中国侵略戦争＝核戦争阻止、戦争式典粉砕・高市打倒へ、決然と立つ時が来た。

この10年の核と広島をめぐる動き

2016年「核なき世界」をペテン的に提唱する米大統領オバマが「核のボタン」を持って平和公園を訪れ、被爆者と抱き合って「和解」を演出。

2021年 広島市議会が「平和推進基本条例」を可決、被爆者を「世界平和樹立への礎」として英霊化し、「平和祈念式を…厳粛の中で行う」として、怒りの闘いの圧殺を図る。

2023年 G7広島サミットで採択された「広島ビジョン」には「核兵器は…防衛目的のために役割を果たし、侵略を抑止し、並びに戦争及び威圧を防止」と明記された。

2024年 23年の8・6闘争に暴処法を適用、5名起訴／日本被団協にノーベル平和賞を授与、被爆者に帝国主義のもとへの屈服を迫る／広島市は原爆ドームを含む平和公園を6日朝5時から9時まで封鎖し、集会を禁圧しようとしたが実力で粉砕した。

2025年 核保有9カ国で核開発維持費は19兆円と過去最高、使える核弾頭は世界に1万発／広島市は再び6日朝の平和公園封鎖、機動隊で強制排除してきたが実力で粉砕した。

米軍の「統合軍司令部」

横田基地へ進撃

6月27日、大行進東京と同三多摩の呼びかけで米空軍横田基地への反基地デモが闘われた。自衛隊統合作戦司令部に対応した米軍「統合軍司令部」へのアップグレードが進む横田基地、この中国侵略戦争の司令部に対して、白ヘルメットを被った労働者・学生のデモ隊が固いスクラムを組んで進撃。出発直後からの公安警察・機動隊による暴力的な規制・妨害をはね返し、第2ゲートへと迫る実力デモを敢行した。機動隊の「壁」を文字通り突き破り、ゲート前を帝国主義打倒の怒りのデモで席巻した。

デモ終了後には再度ゲート前に登場し、自衛隊と米軍への抗議申し入れ。ゲートを閉ざし申し入れを拒絶する在日米軍に、怒りのシュプレヒコールをたたきつけた。

中国侵略戦争許すな！ 米軍・自衛隊の実戦演習に反撃

6月後半、沖縄・九州を中心に、陸自・米海兵隊実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」、米軍多国間共同訓練「ヴァリアント・シールド」が実施された。米海兵隊の対中国作戦EABO（遠征前進基地作戦）－日米共同作戦計画に基づく実戦演習だ。

自衛隊海上輸送群がミサイル発射装置などを民間港を使って南西諸島に輸送した。陸自オスプレイは米軍普天間基地と宮古島に初飛来した。日出生台演習場では16式機動戦闘車などでの砲撃訓練。陸自の長射程ミサイルの運用を想定した指揮所演習も行われた。訓練と一体で、沖縄には米海兵隊の迅速展開可能な最新鋭のミサイルシステム「ネメシス」「マディス」が本格配備された。

重大なのは、トマホークも搭載できる米軍中距離ミサイルシステム「タイフォン」が、昨年の岩国基地に続いて、海自鹿屋航空基地（鹿児島県）に9月の演習まで「一時配備」されたことだ。終了後も在日米軍基地で保管するとされ、実質的な国内配備だ。中国本土を射程に入れたもので、自衛隊幹部は「強烈な装備だ。中国側は喉元に匕首を突きつけられていると感じるだろう」（自衛隊幹部）と語っている。

断じて許すことはできない。

横田闘争もこの中国侵略戦争の実戦演習への反撃として闘われた。

沖縄では演習開始日の6月20日、大行進沖縄が陸自第15旅団司令部がある那覇駐屯地への抗議行動を闘った（**写真下**）。

6・23「慰霊の日」式典粉砕闘争

高市に沖縄の怒り直撃

沖縄戦から81年目の6月23日、大行進沖縄が平和祈念公園で慰霊式典粉砕・高市打倒の闘いに立った。警察・機動隊で制圧し、沖縄圧殺と基地強化、再びの侵略と沖縄戦を強制する張本人である高市を招いた式典など絶対に許せない。「中国侵略戦争阻止」「沖縄戦を繰り返すな」「改憲・戦争に突き進む高市を打倒するぞ」「全基地撤去・安保粉砕」のシュプレヒコールが平和祈念公園と式典会場に響き渡り、会場内外で「沖縄の怒り」が高市に徹底的にたたきつけられた。

強制収用粉砕！反対同盟と労農学が団結

三里塚闘争60周年―6・21農楽まつり

6月21日、三里塚芝山連合空港反対同盟主催の農楽まつりに210人が集まった。成田軍事空港建設を実力で阻止し、市東孝雄さんの南台農地を守り抜くことを固く誓い合った。「まつり」に先立ち、南台農地からまつり会場の萩原富夫さんの畑まで戦闘的

にデモ行進した（上の写真）。

まつりは婦人行動隊の木内敦子さんの司会で開会。畑で採れたキュウリやトウモロコシ、焼きそばなどがふるまわれた。主催者挨拶は事務局の伊藤信晴さん。実力闘争で60年間勝利してきたことを確認し、「今再び成田空港会社NAAが強制収用を持ち出しているのは、中国侵略戦争体制構築の一環」と喝破、巨大な反戦闘争を作り出す先頭に立つと述べた。

カンパアピールで婦人行動隊の宮本麻子さんは、市東さんの南台農地を守る耕作権裁判控訴審勝利を訴えた。連帯挨拶では動労千葉の中村仁副委員長が国鉄1047名解雇撤回・国鉄闘争勝利を呼びかけた。

リレートークでは三里塚と連帯する決意が次々と述べられた。全学連から4人が登壇、代表の首都圏学生が「成田空港機能強化は軍事空港化。帝国主義の侵略戦争による虐殺をこれ以上許すな」と訴え、続いて新入生が闘う決意を元気よく表明した。

反対同盟・天神峰の市東さんは、「60年、権力と対峙して勝利的に進んできたと思います。この地で声を出し、あきらめずに闘うことを続けていきます」と気迫を込め決意を語った。

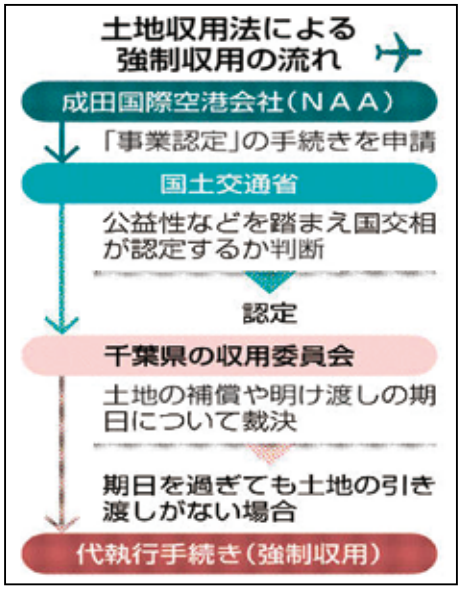
最後に反対同盟が正面に並び、萩原さんが「三里塚闘争60周年反対同盟アピール」を読み上げた。「『一切の話し合い拒否、農地死守・実力闘争』の原則を不屈に貫き成田軍事空港の完成を阻んでいる」勝利を振り返り、NAAが強制収用を持ち出したことを強く弾劾。10・11全国集会開催を告知した。反対同盟歌を斉唱し、団結ガンバローで奮闘を誓った。

戦時下の強制収用と対決する

NAAは7月にも強制収用の手続きに踏み切ろうとしている。6月のB滑走路先行使用に関する芝山町住民説明会では、強制収用絶対反対の声が飛んだ。麻生芝山町長は「強制収用という言葉を使うなとマスコミに厳命している！」と弁解にむきになった。

成田空港騒音被害訴訟団は6月30日、「土地収用法適用に反対する申し入れ書」をNAAと千葉県に提出。住民・有識者ら5団体は7月1日、強制収用に反対する声明を発した。

問答無用の戦時土地収用へと踏み出そうとする日帝・高市の策動を労働者・農民・学生の総結集で迎え撃とう。（三里塚現地闘争本部）



内外情勢（6月中旬～7月上旬）

▼安保3文書改定へ第2回政府有識者会議。非核3原則見直し等を議論（8日）
▼台湾国民党・鄭麗文主席が米ワシントン訪問（9日）
▼公務員の予備自衛官等への兼業を可能にする特例法が成立（10日）
▼高市首相イギリス訪問。スターマー首相と会談し、経済安保の共同宣言（14日）
▼高市首相イタリア訪問。メローニ首相と会談（15日）
▼フランス・エビアンでG7首脳会議開幕。17日まで（15日）
▼米・イラン、停戦への暫定合意14項目覚書に署名（18日）
▼国民投票法改正案が衆院通過（19日）
▼日米共同訓練レゾリュートドラゴン26、熊本健軍基地で開会式（20日）
▼米主催多国間共同訓練バリアントシールド始まる。鹿児島鹿屋基地に中距離ミサイルシステム・タイフォンを展開（22日）
▼米海兵隊・第3海兵師団が地対艦ミサイルネメシスと短距離防空システムマディスの受領と配備を発表（22日）
▼沖縄「全戦没者追悼式」会場で高市に参列者から怒りの糾弾（23日）
▼政府は官民投資370兆円超の「日本成長戦略」詳細を発表（24日）
▼高市首相、安保3文書改定へ自・維から各々提言書をうけとる（24日）
▼航空自衛隊の航空宇宙自衛隊への改編、沖縄陸自第15旅団師団化等の改正防衛省設置法関連法が成立（26日）
▼米軍がイランを2日連続で攻撃（27日）
▼ソウルで日韓防衛相会談、捜索・救難共同訓練等の共同文書（28日）
▼中国が日本20企業等を軍民両用製品輸出禁止対象と発表（29日）
▼国旗損壊罪法案が衆院通過（30日）
▼中国が民族団結進歩促進法施行（1日）
▼米・イスラエルが、エルサレムに米大使館建設の用地協定に署名（1日）
▼高市首相が訪印、モディ首相と会談。艦艇装備輸出で合意（2日）
▼米トランプが独立250年演説で「共産主義は最大の脅威」（3日）
▼イラン・ハメネイ師の国葬始まる（4日）
▼トルコでNATO首脳会議（7日）
▼米軍がイラン国内90カ所を攻撃（8日）
▼23年10月以降イスラエル軍の攻撃で、ガザで7万3100人以上、内1084人が昨年10月停戦以降に死亡と発表（8日）
▼皇室典範改定案が衆院通過（10日）

行動予定 Action Plan

■**7・16国会闘争**
7月16日（木）10時30分～衆議院第2議員会館前／大行進東京

■**7・16国鉄1047名解雇撤回裁判控訴審＆高裁デモ**
7月16日（木）12時30分日比谷公園霞門集合→デモ、14時～裁判（高裁101号法廷）、裁判後に報告集会／国鉄闘争全国運動

■**名古屋反戦デモ**
7月19日（日）13時30分～西柳公園、14時デモ出発／大行進東海

■**三里塚フィールドワーク**／よびかけ：三里塚芝山連合空港反対同盟
7月22日（水）10時成田市天神峰市東さん宅前集合

■**大坂正明さん解放！東京高裁包囲デモ**
7月23日（木）12時日比谷公園霞門集合／星野・大坂全国救援会

■**7・25横須賀反基地デモ**／大行進神奈川
7月25日（土）13時30分～ヴェルクよこすか6階第1会議室、集会後デモ

■**7・25関西女性反戦デモ**／関西女性反戦行動実行委員会
7月25日（土）17時～扇町公園南西角広場、17時45分デモ出発

■**7・25反戦反核東京集会**／大行進東京
7月25日(土)18時30分　渋谷勤労福祉会館　第1・第2洋室、集会後デモ

■**7・26国際通りデモ**
7月26日（日）15時～ほしぞら公民館第3学習室、18時牧志公園から国際通りデモ／大行進沖縄

■**8・6広島暴処法弾圧控訴審第2回(判決)**
7月30日(木)14時30分～広島高裁(開廷前に広島高裁抗議デモを予定)

■**被爆81周年－8・6ヒロシマ大行動**
◎原爆ドーム前前夜決起集会＆デモ　8月5日（水）18時～原爆ドーム前、19時デモ出発／8・6ヒロシマ大行動実行委員会
◎高市首相弾劾・戦争式典粉砕デモ　8月6日（木）7時30分原爆ドーム前北側集合、8時デモ出発／呼びかけ8・6実、改憲・戦争阻止！大行進、全学連
◎ヒロシマ大集会－ヒロシマ大行進　8月6日（木）12時30分～広島県立総合体育館小アリーナ、15時デモ出発／8・6ヒロシマ大行動実行委員会

■**被爆81周年－8・9ナガサキ反戦反核行動**
◎爆心地公園集会－高市打倒デモ　8月9日（日）10時～爆心地公園
◎8・9ナガサキ反戦反核集会　8月9日（日）13時30分～長崎県総合福祉センター・セミナールームA／8・9ナガサキ反戦反核行動実行委員会

■**8・15反戦集会・デモ**
8月15日（土）18時～新宿駅東口広場、19時デモ出発／大行進東京

■**映画「在日」(人物篇)上映＆トークin練馬**　8月16日（日）14時～練馬駅前「Coconeri」（ココネリ）3F研修室／大行進東京北部

闘争日誌

▼6月12日　洞口朋子区議が杉並区議会で核戦争阻止・帝国主義打倒の呼びかけ
▼6月14日　大行進全国集会・首相官邸大デモに1000名
▼6月16日　JP労組全国大会へ宣伝戦
▼6月16日　外国人摘発条例撤回へ茨城県庁抗議行動
▼6月17日　三里塚フィールドワーク
▼6月18日　動労東京環境アクセス支部が24時間ストライキ貫徹
▼6月18日　国会闘争に80名
▼6月18日　大坂さん解放！高裁デモ
▼6月19日　総がかり実よびかけの国会前行動に2万6000名
▼6月20日　宮古島と杉並結ぶ講演集会
▼6月20日　大行進沖縄が陸自那覇駐屯地前でレゾリュート・ドラゴン抗議行動
▼6月20日　世界難民デー東京入管抗議
▼6月21日　三里塚反対同盟農楽まつり
▼6月22日　狭山デモ・高裁要請行動
▼6月23日　沖縄戦慰霊式典粉砕闘争
▼6月26日　星野国賠控訴審で控訴棄却、一審維持の勝利的判決
▼6月27日　横田反基地デモに70名
▼6月28日　映画「在日」（歴史篇）上映＆トークin杉並に80名
▼6月28日　横須賀基地抗議行動
▼7月2日　国会闘争に60名
▼7月3日　弁護士反戦集会に120名
▼7月4日　反戦女性集会デモin高円寺
▼7月5日　ヒロシマ反戦集会・デモ。同日、松山反戦反核反差別デモ

会計報告（26年6月1日～30日）

●収入	533,028
6.14集会カンパ	409,828
ニュース代金	120,900
その他	2,300
●支出	148,376
闘争費	57,920
6.14闘争関連	42,730
7.25集会会場費	11,200
国会行動関係	990
賛同金	3,000
ニュース作成	64,000
事務局活動費	26,456
備品費	16,456
香典	10,000
●５月末繰越金	737,993
●残高	1,122,645

「**改憲・戦争阻止！大行進**」運動は、大規模な反戦デモをめざして全国で取り組んでいます。各地にも「大行進」実行委員会がつくられています。
【呼びかけ】高山俊吉（弁護士）／森川文人（弁護士、憲法と人権の日弁連をめざす会）
野本三吉（ノンフィクション作家）／洞口朋子（杉並区議会議員）
国鉄千葉動力車労働組合
ブログ　https://stop-kaiken.blog.jp/
ツイッター（X）https://x.com/grandmarch2020

ブログ　ツイッター

カンパのお願い

《振込先》
きらぼし銀行
東新宿支店（071）
普通 5009268
「弁護士　森川文人」